



Press Release

報道関係各位 殿

2025年1月31日

株式会社 JTB 商事
エム・テクノロジーズ株式会社
ソリューションアライブ株式会社

JTB グループの商社で全国の宿泊施設等に商品・ソリューションを提供する株式会社 JTB 商事（本社：東京都中野区 代表取締役 社長執行役員：加藤雄次）、エレベータ連携できるサービスロボットの開発販売のエム・テクノロジーズ株式会社（本社：東京都港区 代表取締役社長：吉本万寿夫）、宿泊施設の客室の情報提供を行うソリューションアライブ株式会社（本社：東京都千代田区 代表取締役：小泉淳）、は、参画する公益社団法人国際観光施設協会が提唱・推進する『LINKED CITY』において、共創により、宿泊施設のバックヤード業務での人手不足を解決するソリューションとして、多様なメーカー・機種のエレベータでも半日程度の作業時間で、清掃、配膳、搬送等のロボットを連携させるシステムを開発し、全国のホテル、旅館などへ展開します。

また、新たにリネンの搬送などの重量物搬送を行えるロボットの共同開発をすすめており、令和7年度初夏より販売を開始します。

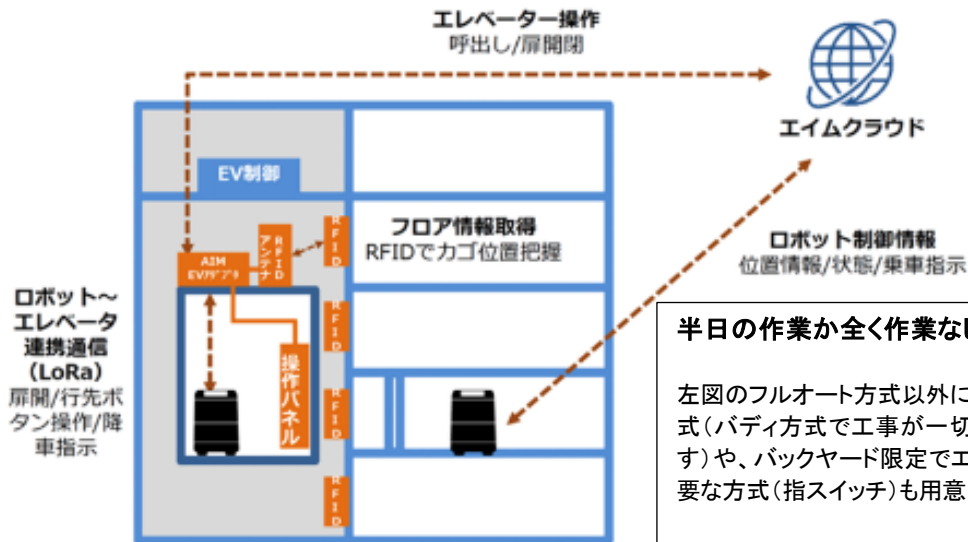
今回のシステムのひとつである清掃ロボット KIRARA については、「プロが選ぶ日本のホテル・旅館 100 選 2024 年」の第 2 位に選ばれた下呂温泉水明館様にて実証を行い、トータルコスト及び、人的リソースの有効活用の点で評価いただきました。加えて、現在リネンサプライ会社からの搬送カートが軒先渡しされた後に、各フロアに搬送する業務を館内スタッフがこなしている重労働を支援するために、リネン搬送カートエレベータに自立乗降させ、自由に館内移動できることを目指し、水明館様とリネンサプライ会社様と一緒に搬送ロボットシステムの導入のためのプロジェクトを進めております。

インバウンド需要の拡大で、ますます宿泊施設のバックヤード業務に携わるスタッフの業務が増える一方で、人手不足が大きな課題となっています。今回のソリューションにより、全国のホテル・旅館を営む事業者の方々に貢献していきたいと思っております。



参考 エムテクノロジーズ エレベータ連携仕組み

EV制御の改造せず、エレベータをコントロール
エレベータがクラウドでの会話可能にする



半日の作業か全く作業なしでエレベータ連携可能

左図のフルオート方式以外にスタッフに手伝ってもらう方式(パディ方式で工事が一切なく、即日導入運用できます)や、バックヤード限定でエレベーターメーカーの許可が不要な方式(指スイッチ)も用意しております。



AIM ROBOT シリーズ(販売中)

どのモデルもエレベータ連携が可能。
客室ヘアメニティ配送の NAOMI-2
大型お膳を同時に4卓配送可能な AYUMI
ラウンジ、宴会場、共用部の清掃で水吹きも可能な KIRARA



参考出品: AIM ROBOT 「MANABEE」(仮称-本年初夏出荷予定)

エレベータと連携しリネンカートなどの重量物(最大200Kg)搬送が可能
上の写真の配膳ロボットの AYUMI と同じでスマホか、Pad で行き先ポイントを指定するだけの簡単操作。加えて今いるポイントに呼べます。(エレベータ連携のフルオート方式時)
リネンカート以外に複数の種類の種類のカートを用意。バゲージ搬送や食材、ゴミ搬送なども可能です。エレベータの扉幅によりカートサイズは代わります。